

主な目次

- 赤い羽根街頭募金..... P 1
- 活発な市民組織づくり..... 2
- 市民組織めぐり(沖友会)..... 2
- 明るい生活..... 3
- 国民年金の受付..... 3
- わたくしたちの市役所..... 4
- 小児マヒワクチンの申込み..... 4

るもい

発行所
留萌市役所
電話(代)270番
編集人
市民課長 青山喜三郎
印刷所 金子印刷所
(毎月1回1日発行)

赤い羽根で代表される共同募金運動が十月から始められる。毎年街々に赤い羽根が流れる頃になると、秋になったとあらためて感ずるようになった。

たすけあいを目的に始められてから本年で十三年目。年々市民の協力によって募金額が好成績をおさめている。

季節の言葉
真心と赤い羽根
橋本作市



それは、心から喜ばしい。しかし反面この好成績の背後に赤い羽根の意味する本来のねらいが次第に忘れられたら、交通証としての赤い羽根を十円玉で買うという風潮があらはれないだろうか。私達が卒直に反省してみたいことである。恵まれない子供達、年老

いた身寄りのない老人達、そして不時の災害に再起も思いやられぬ人々のことを思うにつけても、真心のこもった募金でありたいと願うのは、私一人だけであろうか。

赤い羽根を買うための十円は、あくまでも十円に変わりはないが、たすけあいの精神をこめた十円は百円にも千円にも、いやそれ以上の値うちのものであろう。ついこの間の朝、ラジオで、子供を育てた里親の放送があつたときのこと、子供が育ての親を「おじやん」と呼んでいたので、学校の友達に「おじやん、おじやんと呼んでいよう」とお父さんでしよう」とたすけあいが「お父さんだよ」と答えたが「お父さんならば

秋風にそよぐ
赤い羽根

〇〇〇お願ひしますとさる四日のひるさがり橋本市長も街頭にたち、赤い羽根街頭募金を道行く市民に呼びかけました。

十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。

〇〇〇あなたにもきみにもできるたすけあいから、本年は「たすけあいの心を倍に」の標語のもとに、街頭募金、戸別募金が進められますが、とくに街頭募金は、市内の留萌婦人会、東光婦人会、港北婦人会、母子あゆみ会、フレンド編物学院、矢野洋裁、北海文化服装学院留萌分院、ボーイスカウト、留萌遺族会、フアッシュヨシ洋裁学院の十団体の協力を得て、道行く人たちに呼びかけました。

〇〇〇まちは赤い羽根が流れ、すっかり秋の風物詩の一つにさえ数えられるほどになりましたが、全国約五百万人にのぼる貧しい人たちに愛の手をさしよるため、募金運動は例年のとおり十二月末まで、戸別募金などの形で進められます。(写真は街行く人に赤い羽根をつける橋本市長)

あなたに写真を上の写真で、市長から赤い羽根をつけてもらった奥様、記念の写真をさしあげます。市民課市民係へどうぞ

市長も街頭で呼びかける

教育委員に玄番、中川さん

任期切れの教育委員に玄番、中川さんの二人が再選されました。

九月二十七日から開かれた第三回定例市議会が市長から選任され、議事がこれに満場一致で同意したものと

希望をのせ大活躍
走る公民館 ブルーの装いで

〇〇〇この購入には、市内の婦人会の方々からの暖かい協力もありました。それは財政が苦しい市の姿に同情、進んで寄付金を集めてくれたことでした。

〇〇〇この購入には、市内の婦人会の方々からの暖かい協力もありました。それは財政が苦しい市の姿に同情、進んで寄付金を集めてくれたことでした。

農家台帳を調査します

農業委員会

留萌市農業委員会では、八月一日現在で、市内の三反歩以上の農地を耕作する世帯を対象に、農家台帳を一斉に調査することになりました。

この農家台帳の作製は、全国六百万戸の農家について三十四年、三十五年の二カ年の継続事業として、農家個々について、あらゆる角度から実態を調査し、今後の日本の農政のあり方を検討しようとするものであります。

調査は、農業委員会長の委嘱を受けた調査員が近く農家のみなさんを訪ずれ、土地所有及び耕作状況、家族、家畜、農機具等経営内容の全般にわたって、お聞きすることになっておりますので、調査の重大さを御理解下さいまして、御協力をお願いいたします。

凶漁にめげずに貯蓄
禮受第一納税貯蓄組合 晴れの表彰

れ、毎日の生活が苦しいなかで、細々と営む沿岸漁業の収入の割を納税貯蓄金に充てることを決め、会員三十名のうちほとんどの家庭が別に造った袋の中にためておき、集金日にも遅れない熱心な運営を続けていたことだつたのです。

貯金額も三十五年五月末現在で十五万九千七百九十

希望をのせ大活躍
走る公民館 ブルーの装いで

〇〇〇この購入には、市内の婦人会の方々からの暖かい協力もありました。それは財政が苦しい市の姿に同情、進んで寄付金を集めてくれたことでした。

〇〇〇この購入には、市内の婦人会の方々からの暖かい協力もありました。それは財政が苦しい市の姿に同情、進んで寄付金を集めてくれたことでした。

8月中の人口のうごき

世帯数	9,149	世帯	39,684
総人口	19,984	人口	19,700
出生	17	死亡	10
男女計	19	男女計	8
	36		18
転入	125	転出	123
男女計	95	男女計	111
	220		234